

令和6年度 大阪市立鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への学習指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

1 全国学力・学習状況調査

学年 実施月日		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3年	学校	35	38	30	9.6	27.2
	大阪市	—	56	51	4.1	12.5
4月18日	全国	—	58.1	52.5	3.9	11.3

令和6年度 大阪市立鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

【成果と課題】

〈国語〉

成果: 問題番号1一、1三、2一、2二、2三、4一のように、正答率では全国を下回っているものの、無回答率では0%を記録しており、テストについての意欲は持てている。授業において、読解力向上に向けて、NIEを取り入れることによって、長い文章の読解に対する苦手意識を改善するよう努めている。

課題: 問題番号1四、3四において無回答率が30%後半となっており、自分の意見を文章化して答えることに苦手意識を持つ生徒が多い。

〈数学〉

成果: 二つのグラフにおけるy軸との交点について、事象に即して解釈することができるかどうかを問う問題(8(1)正答率54.3%)、グラフの傾きや交点の意味を事象に即して解釈することができるかどうかを問う問題(8(3)正答率57.1%)など関数の分野における正答率が比較的高かった。また、問題場面における考察の対象を明確に捉え、正の数と負の数の加法の計算ができるかどうかを問う問題(正答率68.6%)も高く、問題を読み解く力は高まっているといえる。

課題: すべての分野において正答率は対全国比率を下回る状況である。特に無回答率が高く、記述式問題の無回答率は50%を超えており、

【今後に向けて】

〈国語〉

記述問題以外にも正答率が低かった問題としては、内容を読み取ったうえで、正しい選択肢を選ぶものがあげられる。これについては、多くの文章を読んでどのような主旨なのか考える教材を数多く取り扱う必要がある。また、日常の会話の中から情報を取り上げる問題についても正答率が低いが、原因の一つとして、語彙力の不足が大きいと感じられる。このことに対する改善策としては授業において類義語対義語をより多く取り上げていくことにする。また、海外からの渡日生徒の場合、日本語を話す機会が絶対的に足りず、日本語で思考することが難しいと考えられる。このような生徒のために少しでも日本語に触れる機会を作りたいと考えている。

〈数学〉

すべての分野において正答率は対全国比率を下回る状況であり、基本的事項の習得が不可欠である。反復した演習や小テストでの理解度の確認を取り入れるなどして、定着を図りたい。数学が比較的得意な生徒には発展問題など、様々なパターンの問題に取り組ませ、応用力を高めさせたい。また、記述式の無回答率がかなり高いことから、普段の授業から物事を考え、表現する力を高めていく必要がある。

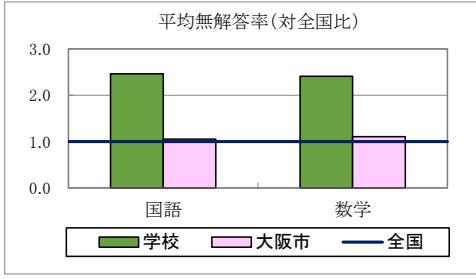
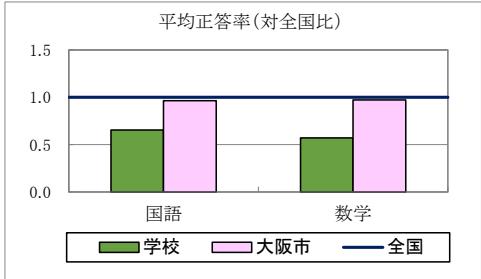
令和6年度 大阪市立鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	38	30
大阪市	56	51
全国	58.1	52.5

平均無解答率(%)	
国語	数学
9.6	27.2
4.1	12.5
3.9	11.3

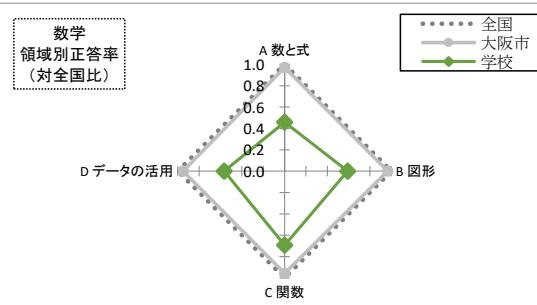
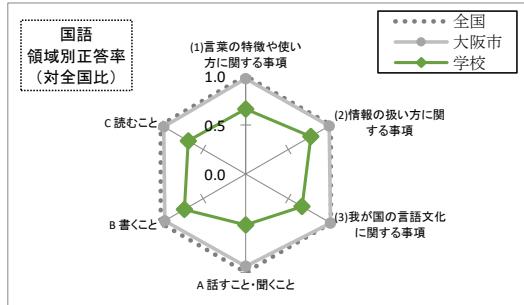
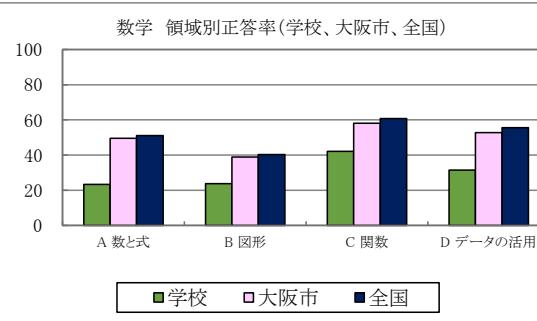
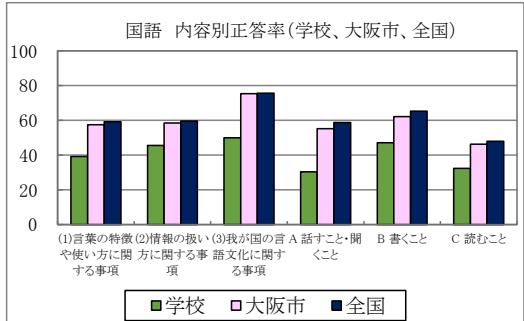


【国 語】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に関する事項	3	39.2	57.5	59.2
(2)情報の扱い方に関する事項	2	45.6	58.5	59.6
(3)我が国の言語文化に関する事項	1	50.0	75.3	75.6
A 話すこと・聞くこと	3	30.4	55.2	58.8
B 書くこと	2	47.1	62.2	65.3
C 読むこと	4	32.4	46.2	47.9

【数 学】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と式	5	23.4	49.6	51.1
B 図形	3	23.8	38.9	40.3
C 関数	4	42.1	58.1	60.7
D データの活用	4	31.4	52.8	55.5



令和6年度 大阪市立鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

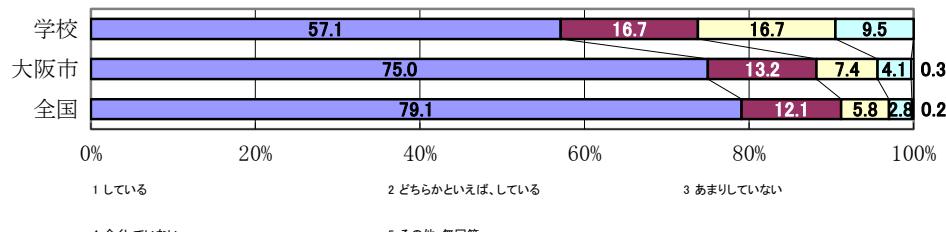
生徒質問より

■1 ■2 ■3 ■4 ■5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

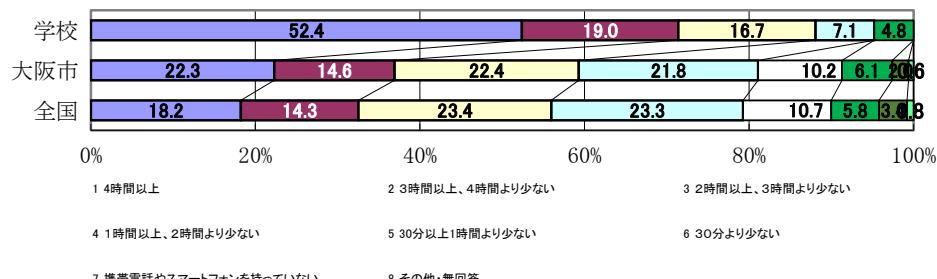
1

朝食を毎日食べていますか



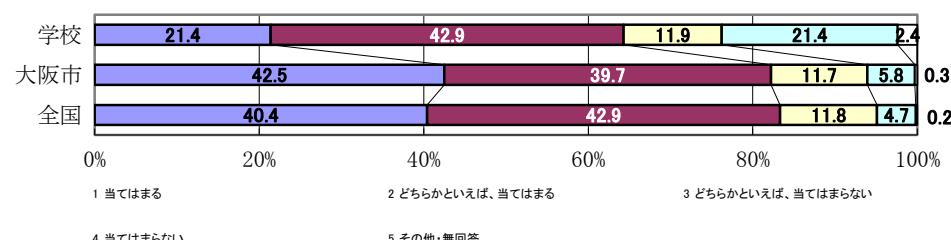
6

普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンでSNSや動画視聴などをしますか(携帯電話やスマートフォンを使って学習する時間やゲームをする時間は除く)



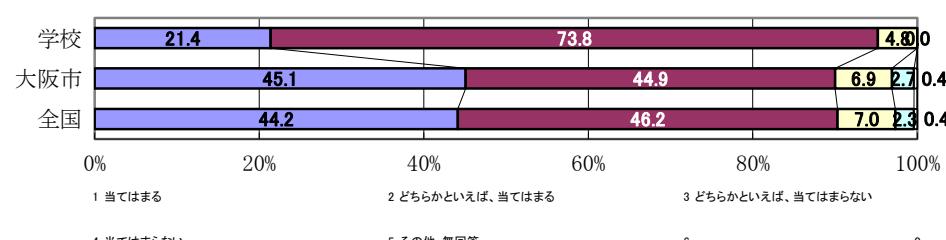
9

自分には、よいところがあると思いますか



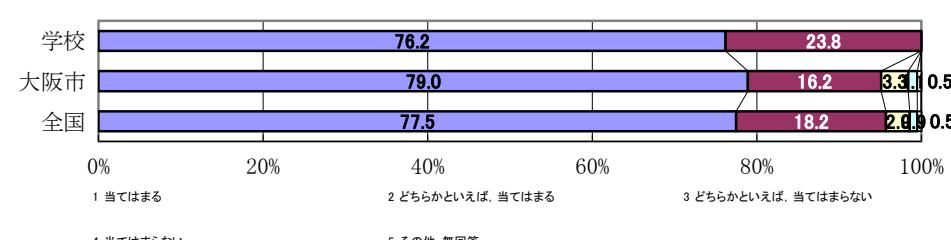
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



13

いじめは、どんな理由があつてもいけないことだと思いますか



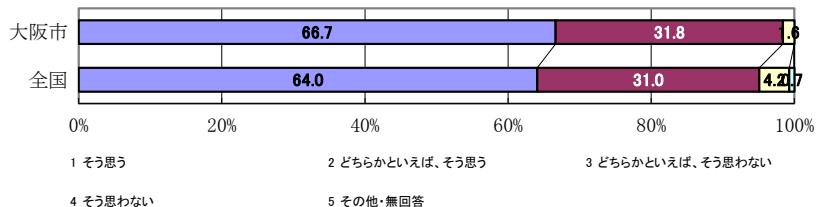
令和6年度 大阪市立鶴見橋中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

学校質問より

■ 1 ■ 2 □ 3 □ 4 □ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8 ■ 9 ■ 10

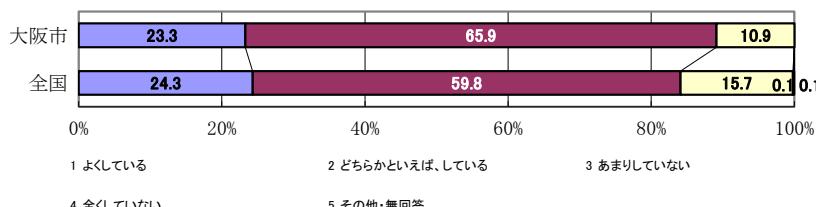
質問番号
質問事項
8
スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーによる教育相談に関して、生徒が相談したい時に相談できる体制となっていますか？

学校 「そう思う」を選択



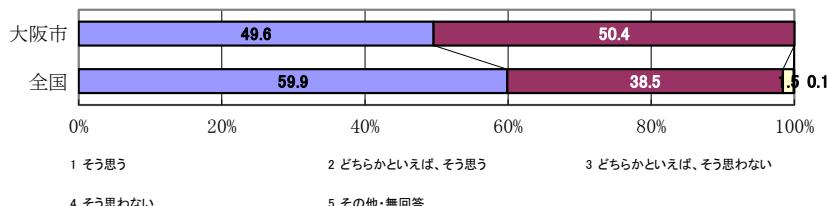
18
個々の教員が自らの専門性を高めるため、校外の各教科等の教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか？（オンラインでの参加を含む）

学校 「よくしている」を選択



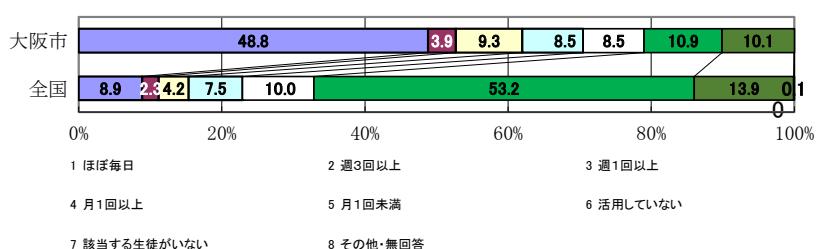
20
学校運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、改善に向けて学校として組織的に取り組んでいますか？

学校 「そう思う」を選択



69_6
生徒一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器について、次のような用途でどの程度活用していますか？（6）生徒に対するオンラインを活用した相談・支援

学校 「ほぼ毎日」を選択



78
令和5年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか？

学校 「よく行った」を選択

